

決算公告

第19期

自 平成30年4月 1日
至 平成31年3月31日

株式会社 イージェーワークス

貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
流動資産	2,210,020	流動負債	346,056
現金及び預金	1,894,055	買掛金	174,640
売掛金	279,769	未払金	31,095
仕掛品	1,266	未払費用	13,549
前払費用	27,485	前受金	29,396
未収入金	7,511	預り金	8,357
立替金	20	未払法人税等	62,106
仮払金	29	未払消費税等	11,593
貸倒引当金	△ 116	未払事業税務	14,635
		リース債	681
固定資産	268,624	固定負債	6,729
有形固定資産	47,097	長期未払金	5,309
建物	14,112	長期リース債務	1,420
工具器具備品	31,038		
リース資産	1,946	負 債 合 計	352,786
無形固定資産	181,847	純 資 産 の 部	
のれん	27,624	株主資本	2,125,858
ソフトウェア	154,222	資本金	211,068
投資その他の資産	39,679	資本剰余金	132,132
敷金	17,503	資本準備金	132,132
長期前払費用	12,654	利益剰余金	1,782,658
繰延税金資産	9,521	利益準備金	5,687
		その他利益剰余金	1,776,971
		繰越利益剰余金 (うち、当期純利益)	1,776,971 (308,368)
		純 資 産 合 計	2,125,858
資産合計	2,478,645	負債・純資産合計	2,478,645

個別注記表

1. 重要な会計方針

(1) 資産の評価基準及び評価方法

仕掛品

個別法による原価法

(貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定)

(2) 固定資産の減価償却方法

有形固定資産(リース資産を除く)

① 定率法(②を除く)

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物 3年～18年

工具器具備品 4年～20年

② 定額法(平成28年4月以降取得の建物)

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物 8年～15年

無形固定資産(リース資産を除く)

定額法

自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)によっております。

(3) 引当金の計上基準

貸倒引当金

債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(4) その他計算書類の作成のための基本となる事項

消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。